

令和元年度東広島市社会教育関係職員研修<第5回スキルアップ研修>
広島版「学びから始まる地域づくり」プロジェクトコーディネーター研修
研修成果発表

三ツ城 命を守る防災プロジェクト



三ツ城コミュニティハウス
生涯学習推進員 新原 陽子



三ツ城地域の現状と課題

- 地域住人の防災に対する意識が低い
- 災害時における避難場所の構築（三ツ城小学校）
- 災害時における地域リーダーがいない
- 高齢者、障害者、乳幼児（子育て）世代の孤立、支援

【三ツ城地域】

- 三ツ城小学校 児童数 811人（2019年5月現在）
- 中央中学校 生徒数 680人（2019年5月現在）
- 三ツ城地域住民数 15,406人（2019年4月現在）

目的（課題解決の方向性）

- 地域住民における防災意識の向上
- 災害時における地域での助け合い、役割分担
- 災害時における地域のリーダーの養成
- 避難場所に辿り着けないうでライフラインが止まった時、個々に慌てず冷静に行動がとれるようになる



**三ツ城コミュニティハウスから
防災教育を推進**

取組のポイント

- ① 「防災」という観点から家族、地域、自らの命を守る課題に取り組む事で危機管理ができ、絆が深まる
- ② 専門家の話しを聞くことにより防災の意識が高まる
- ③ 昨年度の被災近隣地域を目の当たりにし住民の防災意識が高まっているこの時期に防災教育の推進をする



取組の概要

三ツ城防災教育キックオフ（1年目）

- ①三ツ城自治協議会防災部会と三ツ城コミュニティハウスが地域課題を共有し、防災教育の推進を図る（コーディネーターは三ツ城コミュニティハウス（生涯学習推進員）が務める）
- ②三ツ城自治協議会防災部会と三ツ城コミュニティハウスが地域課題を話し合い、ネットワーク作りを推進する

三ツ城防災プロジェクト開始（2年目） 試行実施

- ・ハザードマップの作成・掲示
- ・避難防火訓練
- ・救命救急講習
- ・避難所開設訓練

準備期

試行期

取組の概要

実施期

「三ツ城 命を守る防災プロジェクト」 スタート 事業の本格実施

- ・ 防災授業《助かる命、つなぐ未来》
- ・ 身近なもので作る日用品（ワークショップ）

発展・
継続

- ・ プロジェクトチームの自立化
- ・ 連携の広がり（三ツ城小学校・中央中学校等）

三ツ城自治協議会防災部会を中心とした
住民主体の持続可能な取組みへ



成果指標

【定量評価】

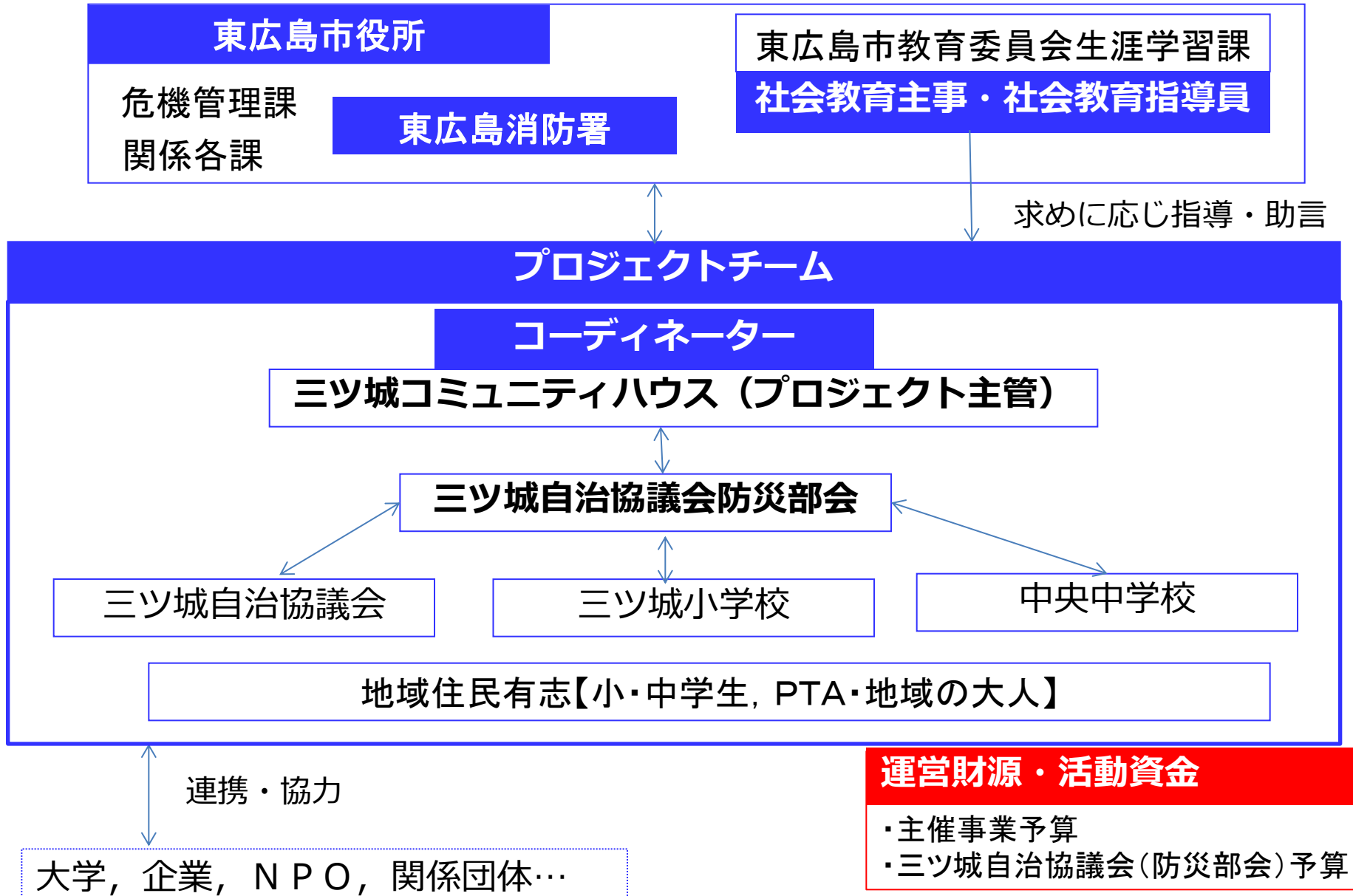
- ・ 事業に参加した住民の数
- ・ 災害がおきた時慌てず冷静に行動がとれるようになったと思う人の数

【定性評価】

- ・ 地域内ネットワークの構築

振り返り（学びのプロセスと成果の共有）

実施体制



スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目				準備期			ネットワークの仕上げ（役割分担） キックオフ会議① 防災教育推進会議②					
2年目		試行期		ハザードマップの作成・掲示 避難防火訓練						救命救急訓練 避難所開設訓練		
3年目	実施期			防災授業①（助かる命、つなぐ未来） ワークショップ②（身近なもので作る日用品）								